

神戸市会議員 (須磨区) せい い ち

むらの誠一



むらの誠一

「人は人の為に尽すを以って本分とすべし」

曾祖父 村野山人 (神戸村野工業高等学校創立者)
の遺志を継ぎ政治家を志す

所属政党 自由民主党

所属会派 自由民主党神戸市会議員団

所属委員会 総務財政委員会(委員長)

外郭団体に関する特別委員会(理事)

経歴

- ・昭和49年2月2日 神戸市須磨区に生れる
- ・須磨浦小学校 卒業
- ・神戸市立高倉中学校 卒業
- ・とび職として働きながら、大学入学資格検定取得
- ・芦屋大学(教育学部) 卒業
- ・兵庫県議会議員 故 伊田 宏 秘書
- ・衆議院議員 砂田圭佑 秘書
- ・平成19年 神戸市会議員選挙 当選(2期目)
- ・神戸南ライオンズクラブ 前会長
- ・神戸鹿児島県人会連合会 顧問
- ・近畿鹿児島県人会連合会 顧問

みなさまのおかげです！ 史上最年少で常任委員長就任

平成21年6月の第2回定例会より、むらの誠一 議員は
総務財政委員会(委員長)・外郭団体に関する特別委員会
(理事)に選任され、新たにスタートしております。

総務財政委員会(常任委員会)

秘書室、危機管理室、会計室、企画調整局、行財政局、市民参画推進局、選挙管理委員会、人事委員会及び監査委員の所管に属する事項並びに他の常任委員会の所管に属さない事項

外郭団体に関する特別委員会(特別委員会)

地方自治法第221条第3項に規定する市の出資団体のうち特に公益性の強い外郭団体について、その運営の実態を把握するとともに、事業効果について調査を行います。



総務財政委員会



外郭団体に関する特別委員会

保育所の入所申込みについて

＜平成20年第4回定例会市会 議案外質問 2008.12.4＞



質 むらの議員

本市の保育所待機児童数は、平成20年4月1日現在で487人と未だ解消には至っていない。新たな保育所整備や、幼稚園の空き教室の活用、また認定こども園など、受入れ施設の拡充は言うまでもないが、保育所入所申込みの、事務改善も併せて取り組んで頂きたい。現在、本市の入所申込みは、原則、各区をまたがった複数申込みが出来ない。

例えば、須磨区に自宅のある母親が、第一希望は当然自宅の近くそれが無理なら第二希望として中央区の職場の近く、それも無理なら第三希望として両親の住む兵庫区といった申込みが出来ない。働く母親からの要望もあり、ライフスタイルが多様な時代に各區別に線を引くのではなく、全市的に保育所の入所申込みができるように制度の見直しをすべきと考えるがどうか。

ニーズのマッチングという観点から、待機児童の解消にも資すると思うが見解を伺いたい。

答 梶本副市長

保護者の利便性を考えた場合、ご指摘のような課題があると認識をしております。今後の対応ですが、複数の区が共管をして入所事務を行っている保育所に加え、例えば北区本区と北神地区のように、保育園整備が進むにつれ、新たに共管の需要が生じた地域について、まず検討を行いたい。

また、全市レベルでも、複数の区の入所申込みが可能になるように早急に検討をしてみたいと思っております。

(議事録要約抜粋)

実現しました

平成22年4月から、全市的に区をまたぐ、複数入所申込みが可能となります。詳しくは12月号、神戸市広報紙に掲載しています。
※各区により掲載時期が違っており、須磨区は上記の通りです。

老人クラブへの補助要件緩和について

＜平成20年第4回定例市会 議案外質問 2008.12.4＞

質 むらの議員

老人クラブは、高齢者同士の情報交換の場となっており、紛れもなく超高齢社会のコミュニティづくりにおいて、重要な役割を担っている。

しかしながら現状は、会員が減り、補助要件の50名を切ると補助金がなく、実質的に活動ができなくなる為、解散を余儀なくされたクラブが幾つもある。

今後、明るく活力ある超高齢社会を構築していく為にも50人の補助要件を緩和し、会員一人あたりで算出する補助金制度への改正など現在の補助要綱を見直すべきと考えるがどうか？

答 梶本副市長

本市としても、クラブ数や会員数の減少防止は課題であると認識しております。今後とも地域コミュニティの核として老人クラブの活性化の為、クラブの意見も聞きながら、必要な支援について検討してまいります。

＜平成21年度予算特別委員会 保健福祉局 2009.3.4＞

質 むらの議員

昨年の第4回定例市会において、老人クラブの活性化について質問し、梶本副市長から、答弁があったが、引き続き質疑したい。

21年度の予算案においても、老人クラブへの活動支援費を計上しているが、昨年に続き本年以降も、単位クラブが50人の定員を割った場合、即座に補助金を停止するのか？ そうなると事実上クラブが存続できず、解散することになり、地域から高齢者のコミュニティが消滅することになるが、当局の見解を伺いたい。

答 桜井局長

本市として補助基準のあり方について、現行制度を頑なに守り続けることは無いが、財源等の問題もあり、今後とも老人クラブと意見調整をしながら検討してまいりたい。



実現しました

厚生労働省の老人クラブ等事業運営要綱の改正により、老人クラブ会員の規模が、おおむね50人以上からおおむね30人以上となりました。それに伴い神戸市も、補助要件を50人から30人へ緩和します。また、平成22年度より補助要綱の改正を行い新たな制度でスタートする予定です。



いつでも気軽にご相談ください。

TEL (078) 739-8889

<http://www.murano.gr.jp>

須磨海岸のポイ捨てについて

＜平成20年度決算特別委員会 総括質疑 2009.9.21＞



質 むらの議員

須磨海岸は、「神戸市ポイ捨て及び路上喫煙の防止に関する条例」によって、ポイ捨ての重点区域に指定されている。しかし、現実にはタバコの吸殻等ポイ捨て天国状態にある。今後は、条例の趣旨にそって過料地区に指定し、海水浴シーズンなど、期間限定で運用し取り締まりの強化を図っていく必要があると考えるがいかがか？

答 矢田市長

現在、須磨海岸は市民が地域の宝として、大切にしていきたいとクリーン作戦等で、さまざまな努力や苦勞をしてくださっております。市民のそういった視野に立つと、今後は須磨海岸を美化の観点だけでなく、訪れた人が快適だと感じる場所に行きたいと考えております。そういった啓発活動を地域の皆さんと、より一層進めていきたいと考えており、その過程の中で実際に季節的に、どのような取り組みをして行くのが良いかを検討して行く事が大切だと考えております。

労使交渉の公開について

＜平成20年度決算特別委員会 総括質疑 2009.9.21＞

要望 むらの議員

本市はこれまでも情報公開の推進に努力されてきたと思いますが、例えば、職員の労働条件については、決定過程が不透明ではないかといった指摘もあります。

他都市においても、公開に取り組んでいるとの事であり、本市も労使交渉の議事録をホームページ上に公開するなど職員の勤務条件についても、市民の理解を得られるよう、これまで以上の情報公開に努める事を要望いたします。

(議事録要約抜粋)

その他



平成22年度予算に向けて市長に要望しました。



犯罪と交通事故のない明るい街づくり区民大会にて

自由民主党神戸市会議員団 須磨区第2支部

神戸市会議員 むらの誠一事務所

〒654-0053 神戸市須磨区天神町3丁目2-45

FAX (078) 739-8887